

6月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成29年6月8日(木) 午前11時
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名
欠席委員2名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	太田照男
	委員	竹内明子
	委員	鈴木俊男
	委員	大島幸雄
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹澤一夫
	常務取締役	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	報道制作局編成部長	宇賀神仁
	報道制作局報道制作部	飯田絵里

4. 議 題

(1) CRTラジオスペシャル「宇都宮JAZZ物語」

(5月27日 土曜日 20:00～21:00放送) について

(2) その他

5. 議事内容

(1) CRTラジオスペシャル「宇都宮 J A Z Z 物語」について

試聴番組：5月27日（土）に放送した番組を予め試聴

議題説明：番組制作を担当した報道制作部 飯田が番組の概要について説明。

今回の番組は、宇都宮での J A Z Z による街おこしについて、もう一度、その歴史を紐解き、今後、何が課題なのか、何か必要なのかを投げかけてみたいと企画した事などを伝えた。

次に審議に入る。

各委員からは、

- 街おこし・街づくりを客観的に、歴史的背景やキーマンをよく探して取材し、いい番組だった。またナレーションも淡々と語っていて、内容に合っていた。行政マンにも、この番組を聴いてほしいと思った。
- 辛口の良い番組で企画意図も良かった。街づくりの在り方について、もう少し突っ込んでもらい、行政から J A Z Z の街づくりにという意図があった後、街の人たちが本当に、その街づくりを考えたのか（今回の取材先であり J A Z Z の街づくりで成功している）阿佐ヶ谷との対比があるとよかったのではないかと思う。
- これまで（番組審議会で取り上げた番組）の中でも特に堅い番組だと思った。特番という事だったが、車の中で急にこの番組が始まったら聞くのがきついなという印象。心して聞かないと聞けない番組だと思った。せっかくの番組なので、（事前広報など）心して聞けるような取り組みが必要。また、一般の人のインタビューは長く聴くのはキツイと思った。
- 戦後からの説明があり、いろいろと気付きをさせられた。40年くらい宇都宮は街づくりをしている一方で阿佐ヶ谷は20年。もう少し、浸透させるため、何か問いかけするような部分があっても良かったのではないかと思う。
- 歴史と問題点を的確に捉えていたし、これからどうしていくのかということももしっかりまとめられていたと思う。
- 全体的には、構成もナレーションも良かった。阿佐ヶ谷との比較はいいが、人口構成、世帯構成などが違い、あまり参考にならないとは思った。J A Z Z の街づくりをこれからどうして行くんですかという事を投げかけた番組で、企画としては非常に良かった。

○ナレーションは聞きやすかった。今までの番組の中で一番良かった。JAZZというのは昔のノスタルジア、これを掘り起こして今の時代にいいのかとも思い、街づくりについていろいろ考えさせられるいい番組だった。

などの意見が出された。

また、当日欠席となった平野委員からは事前にメールが届き、

「JAZZを通して、戦後から現在までの宇都宮の街の様子を垣間見るようで面白かった。阿佐谷の取組を取材し、紹介するなど、まちづくりのあり方を考えさせる番組になった。まちづくりのあり方について、学識（大学教授など）へのインタビューがあっても良かったと思う。現在も活躍している唯一の名誉県民である「ナベサダ」の特番を是非制作してほしい。」

という所感を頂いた。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

特になし。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成29年6月18日 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載 (平成29年6月15日～)

③ 社事務局に議事録備え置き (平成29年6月15日～)

以上